

Q. 家庭教育の啓発を図りたい。

A. 足立区では、保護者や地域の方が参画する各校の「開かれた学校づくり協議会」の中に「家庭教育部会」を設置し、地域ぐるみで家庭教育支援を行っています。



先生方や地域の思いが詰まる
パンフレット

鹿浜小学校の取組

鹿浜小学校では、家庭教育部会で「子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習に関する実態調査」を行いました。実態や課題を把握するとともに、保護者の学校や地域に対する要望を明らかにした上で活動を行っています。

<全家庭にパンフレット配布>

「家庭学習の定着」と「基本的な生活習慣の確立」に向けてパンフレットを作成し全家庭に配布しました。8ページにわたるパンフレットには、家庭学習の大切さ、家庭学習の約束や工夫の仕方・計画の立て方のほか、睡眠の必要性等の内容が盛り込まれています。特に「学習の仕方の基礎的・基本的技能・

態度の学年目標」は各学年で身に付けさせるべき技能や態度について6年間の系統性を考えて作成しました。各家庭で学年ごとに身に付けさせたい目安になり活用されています。またパンフレットとともに家庭学習をチェックする表を併用していることで子どもたちの家庭学習が習慣化してきています。

<SOC(ソック・鹿浜小開かれた学校づくり協議会)スクール>

家庭教育部会が事務局となり、月2回土曜日に行っています。内容は漢字、算数、パソコン。学年ごとのクラスには先生方や大学生がメインの先生になり、地域の方や保護者、中学生もサポーターとして入っています。スクールは登録制で7割以上の子が登録しています。また子どもが登録した家庭には、学習支援のほかにもプリント作りやスクールの受付等の協力をしてもらっています。また年2回の漢字検定も実施していて、親子で受検する家庭も出てきました。スクールでの取組から各家庭での勉強時間を増やすことや家庭で共通の取組をするという家庭学習の啓発がスクールのねらいですが、徐々にその効果が出てきています。



地域の方や保護者もサポーターになり子どもの学習を支える。

足立区教育委員会 学校地域連携課の話

足立区では6年前から各校に開かれた学校づくり協議会を設置し、「地域の子は地域で育てる」を合言葉に学校・地域・家庭が連携して活動してきました。さらに学力向上が課題となっている現在、その基盤である「家庭教育の充実」を目指し、昨年度より開かれた学校づくり協議会内に家庭教育部会を設置しました。家庭教育にかかわることは大変難しい課題です。これまで学校やPTAから家庭へのアプローチを行ってきましたが、地域コミュニティの基盤である開かれた学校づくり協議会で取り組むことが効果的であると考え、家庭教育部会が中心になって、今まで以上に学校・PTA・地域が連携して取り組んでいっていただくことを期待しています。家

千寿桜小学校の取組

千寿桜小学校では、開かれた学校づくり協議会が右の表のように5つの実践部会に分かれて活動しています。各部会の持ち味を十分に生かし、各部会が連携して家庭教育支援を行っています。

協議会組織	校内部	花を育て隊
	校外部	表現ワークショップ
	家庭教育部	井戸端会議、家庭教育サロン
	広報部	協議会だより発行
	総務部	各部のお手伝い

子どもの学力向上、健全育成はもちろんですが、子育てを通して大人の教育力の向上も目標としています。各部会に先生方も入り、地域・保護者と連携しているので、例えばクラブ活動の発表の場として地域のイベント等に参加しています。子どもたちにとっていい経験ができるとともに地域の活性化にもつながっています。

<井戸端会議>

各クラスの保護者会の後で、1グループ10人ほどで、協議会の方が中心になり、自由に意見を述べ合う時間を設定しています。「子どもを伸ばすほめ方・叱り方」「夏休みの過ごし方とお手伝いについて」「ものの大切さ、あたえ方」など、事前に部会と先生方で打合わせをして、全校同じ大テーマで行っています。また来られなかった保護者へも、話し合いの内容は広報紙で知らされます。井戸端会議はきっかけづくりと考えています。それを広げて地域の中でお互いに情報交換できるようになることをねらいとしています。



料理をしながら子育ての話にも花を咲かす家庭教育サロン

<家庭教育サロン>

子育てについて保護者が気軽に集まれる場として年に数回開催しています。着付けや料理等のプログラムを用意し、楽しく活動しながら学級や学年を越えて気軽に子育てについて話し合ったり情報交換したりしています。



子どもも大人も楽しむ表現ワークショップ

また校内部の「花を育て隊」は地域と連携して子どもたちがたくさんのボランティアの方とともに園芸活動をしています。校外部ではサタデースクールの一環として表現団体と連携して「表現ワークショップ」を開催しています。子どもたちの表現力の育成とともに親同士が顔なじみになる場にもなっています。千寿桜小では家庭教育部会だけでなく開かれた学校づくり協議会全体で家庭教育支援に取り組んでいます。

庭教育部会には、子どもの実態を把握したり学校・保護者・地域の声を聞いたりして、具体的な課題解決のために企画・提案・実践するような実効性のある活動を展開をしていただきたいと考えています。

足立区教育委員会では、今年度、教育改革推進のために組織を一部改正しました。その中で開かれた学校づくり事業を専管とする「学校地域連携課」を設置しました。地域や家庭と協働して総力を挙げて学校を支援する組織です。このように区教委を挙げて、学校教育支援・家庭教育支援を一層充実させるための改革に取り組んでいます。